



# 季節のように生きる。

雨の日は雨を聞く。雪の日は雪を見て、夏には夏の暑さを、冬は身の切れるような寒さを。五感を使って、全身で、その瞬間を味わう。

お茶の魅力に気付き、惹かれていった女性が体験するのは、静かなお茶室で練り広げられる、驚くべき精神の大冒険。

黒木華、樹木希林、多部未華子の初共演で贈る、

一期一会の感動作がここに誕生。

にちにち  
これこうトっ

# 日は好日

黒木華 樹木希林 多部未華子

原田麻由 川村紗也 滝沢恵 山下美月

郡山冬果 岡本智礼 荒巻全紀 南一恵

鶴田真由 鶴見辰吾

監督・脚本：大森立嗣

原作：森下典子「日は好日」が教えてくれた15のしあわせ(新潮文庫刊)

プロデューサー：吉村知己 金井隆治 近藤貴彦 撮影：横澤治 照明：水野研一 美術：原田清生 堀明元紀  
 録音：吉田憲義 装飾：田口貴久 衣装：宮本まき江へアメイク：豊川京子 音響効果：伊藤進一 編集：早野亮  
 スチール：三木匠宏 助監督：小南敏也 森井佑佑 制作担当：飯塚香織 ラインプロデューサー：伊達真人 題字：赤松陽輔 音楽：世武尊  
 製作：「日は好日」製作委員会(ハピネット テレビ東京 東京テアトル パルコ 朝日新聞社 TBSラジオ テレビ大阪  
 イオンエンターテイメント カラーバード ベンチャーバンク ハーベストフィルム グランマイルール ヨアケ)  
 製作幹事：ハピネット ヨアケ 製作プロダクション：ヨアケ ハーベストフィルム 特別協賛：カワラ グランマイルール  
 応援：香子家不審庵 特別協力：花博 ホットヨガスタジオLAVA 配給：東京テアトル ヨアケ  
 www.nichinichi.jp © 2019 TBS放送 製作委員会





# 今を生きる喜び。誰もが味わえる本当の自由。

「人生のバイブル!」多くの読者を救ったロングセラー・エッセイを映画化!

原作は人気エッセイスト、森下典子が茶道教室に通う20年の日々を綴ったロングセラー。瑞々しく描かれる心象風景や青春像、そして「お茶」がもたらす人生訓的な“気づき”の数々は、茶道経験者の枠を越え、様々な岐路に立つ読者にとって心の拠り所となっている。主人公、典子を演じるのは黒木華。その卓越した演技力で、一人の女性の人生をたおやかに演じる。監督・脚本は大森立嗣。初タッグとなるこの二人によって描き出される時の流れは、美しく、そして儚い。武田先生を演じる樹木希林は「習い事の先生」という枠を大きく超えた人生の師匠として、大きな包容力で典子たちを導いていく。そして、典子のいとこ・美智子役の多部未華子が、お茶室に飾られる一輪の花のように映画に彩りを与え、静かな物語に躍動感を与える。日本映画界屈指の実力派キャスト・スタッフで贈る、一期一会の感動作がここに誕生した。



日日是好日  
それはお茶が  
教えてくれた幸せ。

真面目で、理屈っぽくて、おつちよこちよい。  
そんな典子（黒木華）は、いとこの美智子（多部未華子）とともに「タグモノじゃない」と噂の武田先生（樹木希林）のもとで、お茶を習う事になった。  
細い路地の先にある瓦屋根の一軒家。  
武田先生は挨拶も程々に稽古をはじめると、意味も理由もわからない所作にただ戸惑うふたり。「お茶はまず「形」から。先に「形」を作っておいて、後から「心」が入るものなの。」と武田先生は言うが――。  
青春の機微、就職の挫折、そして大切な人との別れ。人生の居場所が見つからない典子だが、毎週お茶に通い続けることで、何かが変わっていった……。

世の中には「すぐわかるもの」と「すぐわからないもの」の二種類がある。  
すぐわからないものは、長い時間をかけて、少しずつ気づいて、わかってくる。  
子供の頃はまるでわからなかったフェリーニの『道』に、今の私がついに涙を流すことのように。

2020年1月20日(月) ①10:30 ②14:00 ③19:00 (上映時間100分)

【全席自由】1,000円 (大阪映画センター会員の方は900円)

※就学前のお子様はご遠慮ください

◆チケットのお取扱い・お問合せ [10月9日(水)発売]

(公財) 茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055(9:00~17:00)

○クリエイトセンター1階チケットカウンター(9:00~17:00)

○福祉文化会館3階チケットカウンター(9:00~17:00)

◆主催・お問合せ 株式会社大阪映画センター ☎06-6719-2233



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。

茨木市駅前四丁目6番16号 / 072-624-1726